

ふパルしろね図書館だより

No. 177
～Since 2000～

発行 新潟市立白根図書館
新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510
shirone.cl@city.niigata.lg.jp
平成27年2月発行



くらしのなかに図書館を

白根図書館 図書館協議会委員(公募)の募集

図書館の運営などに意見を寄せてもらう付属機関の委員を募集します。
委員は、公募委員のほか、学識経験者らで構成。年3回程度、平日昼間に会議を行います。
本市のほかの付属機関などで委員になっている人は応募できません。

任期	平成27年4月1日～平成29年3月31日
申込み	締切日までに、氏名、住所、生年月日、電話番号、応募の動機を記入した用紙と、 作文を郵送またはE-mailで白根図書館へ。
募集人数	2人以内
応募資格	南区在住で、平成27年4月1日現在20歳以上の方
締切日	平成27年2月15日必着
作文テーマ	「市立図書館に望むこと」(1200字以内)

問い合わせ先(応募先)

白根図書館
〒950-1477 南区田中 383
電話 025-372-5510
E-mail : shirone.cl@city.niigata.lg.jp

蔵書点検にご協力いただきありがとうございました



今年度の蔵書点検も無事終了することができました。1月29日からまた通常通り開館し、皆様にご利用いただいております。

毎年蔵書点検期間中はお休みをいただきご不便をおかけいたしますが、皆様のご協力、ご理解に感謝申し上げます。点検では、白根図書館の蔵書約12万冊の資料が正しい場所にあるか、行方不明のものがないか1冊ずつ点検いたしました。

今後もより一層利用しやすく、また皆様に愛される図書館になるよう職員一同努力してまいります。



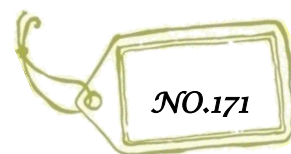
月の読書会

1月18日(日)

参加者 9名

今月のテーマ

「邪馬台国を読もう」



◆『卑弥呼の密室』◆

獅子宮敏彦/著 (祥伝社)

推理小説。面白いし、ためになる。

◆『卑弥呼の幻像』◆

富田徹郎/著 (日本放送出版協会)

邪馬台国の所在地についての仮説を提示。邪馬台国や卑弥呼に関する論争は尽きない。

◆『日本の心を伝える年中行事事典』◆

野本寛一/編 筒江薫/文 谷阪智佳子/文

岩城こよみ/文 (岩崎書店)

◆『知識ゼロからの神社入門』◆

櫻井治男/監修 (幻冬舎)

◆『ぎょうじのえほん』◆

西本鶏介/文 新谷尚紀/監修 (ポプラ社)

知り合いが神社の後継ぎということもあり、年越しは神社で過ごしている。近年、伝統行事も参加者が減って行えなくなっているものもあるようだ。

今回は昔から伝わるものとしてこの本を選んだ。大人から子どもまで読める本。子どもたちにも読んでもらいたい。

◆『大古墳と剣が語る 王権の争奪 (日本古代史)』◆

直木孝次郎/編 (集英社)

◆『新しい歴史教科書』◆

藤岡信勝/ほか著 (扶桑社)

◆『検定不合格日本史』◆

家永三郎/著 (三一書房)

邪馬台国がどこにあったかは分からないが、教科書だとどう説明されているか、ということで選んだ。

◆『新訳倭人伝 (改)』◆

倭健/著 (文芸社)

◆『俾弥呼』◆

古田武彦/著 (ミネルヴァ書房)

◆『卑弥呼の墓・宮殿を捏造するな!』◆

安本美典/著 (勉誠出版)

邪馬台国は実際どこに存在したのか。大和なのか、九州なのか、それ以外なのか。今も解明されていない。

◆『ゲッターズ飯田の運命の変え方』◆

ゲッターズ飯田/著 (ポプラ社)

卑弥呼が巫女であったことから関連して、今人気の占い師の本を紹介。ちょっと視点を変えて、現代の生活に役立つ本ということで選んだ。

◆『邪馬台国論争』◆

佐伯有清/著 (岩波書店)

邪馬台国について、今までどんな論争がされてきたか。その論争がまとめられている興味深い1冊。

◆『日御子』◆

常木蓬生/著 (講談社)

歴史小説。那国や伊都国、弥摩大国から漢へ使者を派遣されたときに通訳を務めた一族の物語。

そのほかにも紹介されました。

◆『桃太郎と邪馬台国』◆

前田晴人/著 (講談社)

◆『邪馬台国と大和朝廷』◆

武光誠/著 (平凡社)

次回の読書会



2月の読書会テーマ

「うたを語ろう」

2月15日(日) 午後2時～

会場 白根学習館ルーム3

申込みはいりません。気軽に本のお話をしましょう。おいしいお茶とお菓子を
用意してお待ちしています。

しろね図書館友の会共催



読書会は好きな本を持ち寄りおしゃべりする、午後のお茶会のような集まりです。

図書館員がおすすめする
この1冊



モネ、ゴッホ、ピカソも治療した 絵のお医者さん 修復家・岩井希久子の仕事

岩井希久子/著
美術出版社

どんなに素晴らしい絵画も放っておけば経年劣化していくもの。描かれたままの状態を保持していくには定期的なメンテナンスが必要です。西欧諸国では美術館に修復部門があるのに、日本では良い状態で作品を維持管理していくという意識が薄く、対応も遅れているのが現状です。

岩井さんは、独自に先進国に学び、修復の技法を極め、数々の名画を蘇らせてきました。その仕事の流儀が語られています。

「職人たちのたゆまない、ひた向きで誠実な技がいくつも重なり合って、未来に残すことができる。」「世界でいちばん絵にやさしい修復を目指して、誠心誠意取り組んでいきたい。」という言葉・姿勢に感じ入りました。（村山）

子どもたちといっしょに



まゆとおに

富安陽子/文 降矢なな/絵
福音館書店

親子で楽しめるえほん

まゆは、やまんばのむすめ。ある日、はじめて会ったおにが、まゆを煮て食べようとします。ところが、まゆにお湯を沸かすたきぎを頼めば、太い松を1本根こそぎ引っこ抜き、火を囲む石ころを頼めば、岩を軽々持って来るのです。お湯が沸いたので、腹ぺこのおには「おふるだ」とすすめますが、まゆはおかあさんのことばを思い出して…。

豆まきのあとに家族で読んでみてはいかがですか？おにの表情に笑ってしまいますよ。「やまんばのむすめまゆのおはなし」は、シリーズになっています。まゆとやまんばかあさんの、人間界とはちょっと違う楽しい日々をのぞいてみませんか？（甲斐）

今月の展示架 2/5~3/3

甘い本

2月14日は皆さんご存じのバレンタインデーですが、

2月15日はお菓子の日って知っていませんか？

チョコレートだけではなく、
色々な甘い本をどうぞ☆



白根図書館 3/5 までの行事

白根図書館休館日 毎週金曜日・毎月第1水曜日

2/6(金) 2/13(金) 2/20(金) 2/27(金) 3/4(水)

おはなしかご例会

毎月第2,第4土曜日

※白根図書館で活動しているボランティアグループの勉強会です。

2/14(ルーム45)

2/28(ルーム45)

午前10時~

おはなしのじかん

毎週土曜日

絵本のよみかたり

午後2時10分~

ストーリーテリング

午後2時30分~

読書会

(毎月第3日曜日に開催)

2/15(ルーム3) 午後2時~

3月のブックスタートは
5日(木)です。



1月の来館者数……8,873人

月潟図書館だより

2015年 2月



編集・発行 新潟市立月潟図書館

〒950-1304 新潟市南区月潟 1417 番地 電話：025-375-3001 FAX：025-375-1060

蔵書点検による休館のお知らせ

蔵書点検に伴い、月潟図書館は下記のとおり休館します。

休館 平成27年2月4日(水)～11日(水)

ご不便をおかけしますが、

ご理解とご協力をお願いいたします。



親子で遊ぼう
わらべうた



絵本への導入に、
お子さまとのスキンシップに
はじめてみませんか。

悩み解消！ 掛軸の保存

扱い方に自信がない・・・
書・画の作者等を調べたい・・・

2月27日(金)

午後2時～3時30分

講師 本井晴信 さん

(元県立文書館副館長)

先着15人(要申込み)

2月12日(木) 10時より

電話・窓口にて参加受付開始

※保存や扱い方を学ぶためにご自宅の掛軸を
持込みできます。

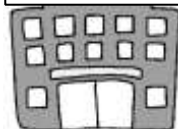
鑑定・評価はできませんのでご了承ください。



くらしのなかに
図書館を

ご参加お待ちしております

月潟図書館



3月8日(日)

午前10時30分～11時30分

講師 石塚千加子さん

(読み聞かせボランティア)

対象 1歳くらいから4歳の

お子さまと保護者

先着15組(要申込み)

2月12日(木) 10時より

電話・窓口にて参加受付開始



2月のテーマ展示



「家で楽しく！手工芸の本」

まゆ玉を飾りました。
まゆ、ですが材料はおもち。
正月に食べるおもちが
かわいい飾りに変身です。



月潟図書館

2

月のカレンダー

休館日 毎週月曜日・毎月第一水曜日

2月4日(水)～11日(水) 蔵書点検のため休館、16日(月)、23日(月)

開館時間

火曜～金曜：午前10時～午後7時

土曜～日曜：午前10時～午後5時

おはなしの
じかん

◇毎月第2水曜日午後4時～午後4時30分 場所：おはなし室

◇毎週土曜日午前10時30分～午前11時 場所：視聴覚室

